

## 活用方針・導入/活用までのステップ



### VLP取組概要



#### ■VLP活用のねらい

- 仮想空間上に支援を要する児童・生徒を対象とした支援環境を整え、居場所や学びの場を提供する。

#### ■対象生徒・児童

- さまざまな事情で、学校に通うことのできない小中学生

#### ■運営時間

- 毎週月曜日から金曜日の平日開催
- 午後1時30分から4時30分まで

#### ■活用方法

- 校種や学年に制限は設けずに、本空間を必要とするすべての児童・生徒を対象とし、広く本空間の活用を周知した。
- 本空間を居場所として利用してもらうために、複数の人間で見守り体制を整えた。



### VLPの導入/活用までのステップ

- ① 事業担当者、業務分担の決定
- ② 先行地区の事例収集
- ③ 事業内容の決定
- ④ 実施通知の発出
- ⑤ 教員体験期間の実施
- ⑥ 校長会でのデモ紹介
- ⑦ 事業の正式開始
- ⑧ 月ごとの分析
- ⑨ 事業内容の見直し
- ⑩ オンライン部活動の導入
- ⑪ 初心者の会の定期開催
- ⑫ 区独自イベントの開催
- ⑬ 成果と課題の取りまとめ
- ⑭ 次年度の実施内容の決定

## 活動・取組み内容

### 活動・取組み内容

#### 【導入前】

- 全学校に仮IDを配布し、教員体験期間を実施
- 校長会で実際のバーチャル空間での操作デモを実施
- 保護者向けチラシを作成し、区HPの掲載や各学校へのメール配信

#### 【導入初期】

- 利用児童・生徒からの聞き取り
- ニーズに合わせて美術サークルの立ち上げ
- 区主催研修等での宣伝・教員向けの広報誌の発行

#### 【運用期】

- オンライン部活動の開始
- 初心者への会の定期開催を実施
- 区独自イベントの開催

## 教員向け広報誌

2024.8.6  
No. 6

**ALWAYS SMILE**  
～すべての子どもたちの笑顔のために～

「バーチャルえどがわサポートルーム」へようこそ！

6月から「バーチャルえどがわサポートルーム」をOPENし、まもなく2か月が経過します。この仮想空間では、利用者同士の交流や支援員への相談、自学自習アプリ「デキタス」による学習などが利用できます。区の心理士や指導主事も参加して見守っています。ぜひ、先生方も一度のぞいてみてください。



生徒のイラスト投稿コーナーとして活用中

テキストチャットやボイスチャットで会話できます。

指導主事 支援員 心理士

月別利用状況（自動反映）

	4月	5月	6月	7月
アカウント累計配布数	1	5	20	66
ログイン数	1	5	10	20
アカウント利用率	100%	100%	50%	30%
ログイン回数	1	5	50	172
ボイスチャット数	1	5	55	136
テキストチャット数	1	5	69	279

申し込み方法や使い方は6月18日に各学校に4thメールで送付済です。

家から出ることが出来ない児童と、週に1回

## 区独自イベント

いきます。

は岡田指導主事による「イラストのコツ～アナロ」しました。参加した生徒は、イベントのあともバトで交流しながら、習ったコツを生かしてイラスト



手に見える

## 成果/好影響・次年度以降の方針・利用者の声

### 成果/好影響

- ✓ 2月末段階で、207アカウントの申し込みがあった。
- ✓ 本空間での活動や学習が出席認定に繋がるケースがあった。
- ✓ 本空間をとおして友人関係が育まれ、両保護者許諾のうえ、現実での交流が始まった。
- ✓ 学校サポート教室（旧適応指導教室）内でも、VLP利用者が増え、教室外でも交流できるようになった。
- ✓ VLP内で担任やSSWが児童・生徒と待ち合わせをし、定期的に交流するケースが生まれた。
- ✓ オンライン支援員になりたい、という生徒もあらかわせ、将来について真剣に考えるきっかけに繋がった。

### 次年度以降の方針

- ✓ 申請書類に、Teamsアカウントも同時に記入を求めることで、利用者に直接イベント等の周知ができるように調整予定
- ✓ VLP空間内でのイベント企画に協力できる教員を広く募集し、不定期イベントを充実させる予定

### 利用者の声



児童・  
生徒

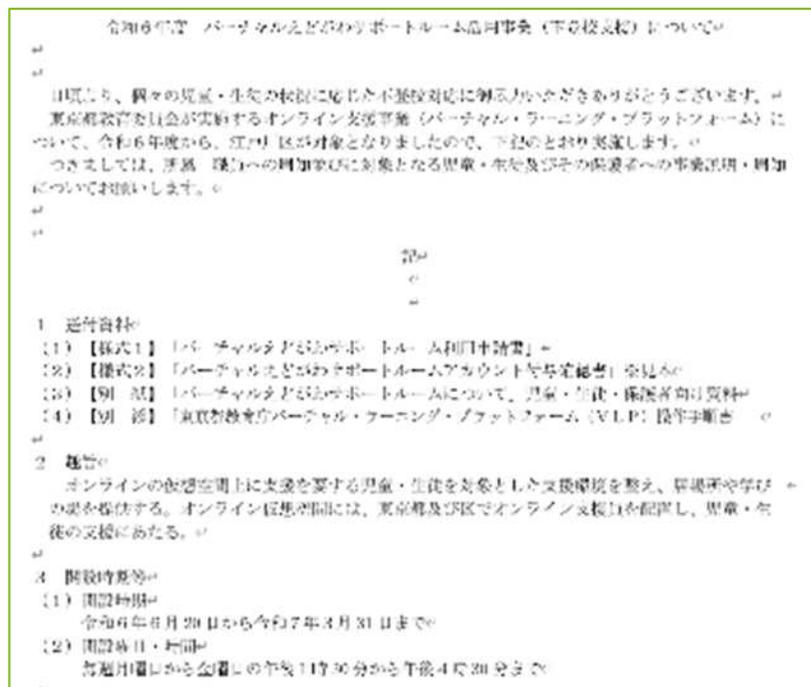
- この空間が本当に好き。
- いつも誰かがいてくれるから安心。
- 支援員の方とお話できるのが楽しい。
- アバターでやりとりできるのがよい。
- もう少し遊べる機能が欲しい。



教職員や  
保護者等

- 仮想空間内でのトラブル等が心配だったが、支援員の方の見守りの中なので、自然と情報モラルの感覚が子どもに身についていた。
- 日中一人でいることがほとんどだった子どもが、オンライン上でも他者と交流が持てたことが助かった。
- 今後も継続して欲しい。

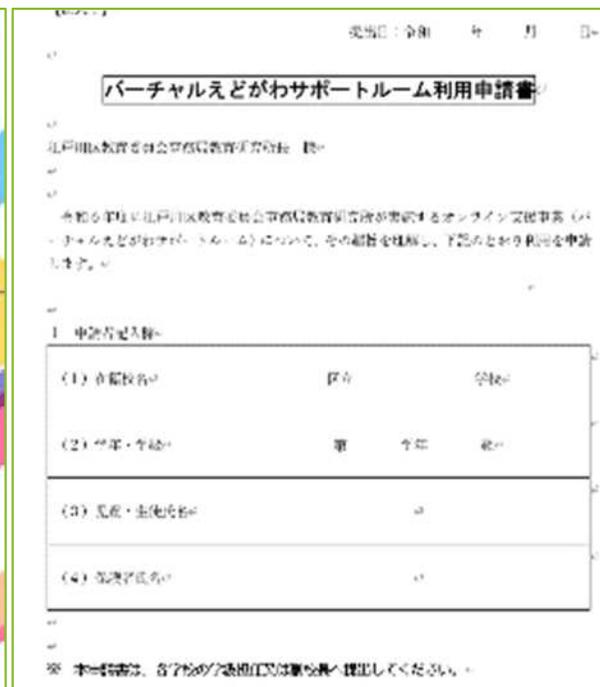
# 通知文



# チラシ



# 申請書



# 操作マニュアル

